

# 「チームたかしま便り」

~高島市の医療、介護、福祉に携わる皆様とともに~

第5号 2025. 6 発行

今年の梅雨、暑さはどうなるでしょうか。上手く乗り切っていきたいものですね。

さまざまな職種との連携がすすむよう、出会い話す機会をつくっていきたいと思っています。お互いを理解して、困りごとを解決し、連携を深めていきましょう。関係機関の皆さんの強みが、つながることでより強固な「チームたかしま」として、パワーが発揮され、市民の皆さんの望む暮らしを応援できるように、報告、連絡、相談していきましょう。

# 「医師と多職種との座談会」5.30 開催

高島市医師会の先生方の協力により開催しました

- ◇グループに分かれて
- ○自己紹介 と フリートーク 高島市を取り巻く医療、介護業界の問題点、感じること等

どのグループもなごやかに、そして盛り上がっていました

### 参加者数 医師 16名、多職種 24名

介護支援専門員、看護師、相談員、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、管理栄養士、保健師

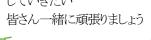


## 「参加されている先生を知りたい」とのご要望で

◇先生の自己紹介 先生からひと言ずつ コメントをいただきました (少しご紹介します)



チームで高島のレベルが 他よりも高いと言われるようなことを していきたい





他の人たちに向けて顔を 合わせるというか、情報を 入れるということが大事だと、 思います



最近困難事例が多くて、ケアマネさん にも相談したりとか、いろいろとお世話になっております



高島においては、できれば医師も歯科医師も看護師も、ケアマネさん、ヘルパーさん、皆対等な関係になってほしいなと思っています。上下関係はないんですから。 専門職として対等な関係を築けるようになっていってくれたらなと願っています

「先生からのひと言がとても励みになりました!」 「話せてよかった~」 お時間をいただき、ありがとうございました

「湖西圏域の高次脳機能障害の支援状況について」 髙島障がい者相談支援センター コンパス センター長 杉島 隆氏

「滋賀県における高次脳機能障害支援について」 滋賀県高次脳機能障害支援センター 田邊 陽光氏 (精神保健福祉士・公認心理師)

#### ◆高次脳機能障害

事故や病気で脳が損傷を受けて引き起こされる脳の後遺症 気づきにくく理解されにくい障害 人生の途中で偶然にあった中途障害 激高する症状、社会的行動障害は顕著

#### ◆支援のポイント

- 1. 複数の関係機関で連携し、チームで関わる 定期的に個別支援会議を開催
- 2. 相談してもらう関係性を構築する 本人が理解しやすい手段を使う(図で示すなど) 家族支援が大事 「家族も当事者である」 チームで連携して、相談しながら支援することが何よりも大切 いろいろなサービス、沢山の人に関わってもらうことが大事

#### ◆課題

- ・高次脳機能障害を理解して対応できる支援者が少ない
- ・高次脳機能障害を診断・評価できる医療機関が少ない
- ・社会的行動障害が顕著 施設入所も受け入れが難しい

事例を通して、わかりやすく説明していただきました







参加された多くの関係者が、高次脳機能障害の方を支援されていることがわかり、驚きでもありました 県や市、コンパス 他さまざまな機関に相談できることがわかりました 抱え込まずに連携して支援しいきましょう

ネットワークがこういったつながれる機会になって広がり、より支援がすすすごとを願っています

## 【今後の予定】

「第154回高島市医療連携ネットワーク運営協議会」

日時: 2025年7月3日(木) 14:00~15:15

話題提供:「地域の中で助け合うまちづくり」(仮)

話題提供者:元気な仲間

## お待ちしています

会場:安曇川公民館 ふじのきホール

## ~ 「たかしまマイウェイノート」を活用してください~

患者さん、利用者さん、ご家族、市民の皆様、どなたでも・・

これまでを振り返り、これからの生き方、好きなこと、やりたいこと、もしもの時を記すノートです

その人の思いを知る手掛かりとして、大切なことを確認する手立てとしてご活用ください

いつでもお渡しできます ご連絡ください

【お問合せ先】<事務局> 高島市医師会 在宅療養支援センター 〒520-1121 高島市勝野 1667 高島市民病院内 TEL:0740-20-9005 FAX:0740-20-9006

